

第6次軽井沢町長期振興計画策定に伴うキッズコメントの実施結果について

1. 概要

軽井沢町では、第6次長期振興計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）と同時期に、キッズコメントとして、子ども向けのわかりやすいパンフレットを作成し、町内小中学校に配布しました。

本資料は、小中学生の皆さんからいただいたご意見の主な内容と、それに対する町の考え方をまとめたものです。

なお、いただいたご意見につきましては、本計画の推進に生かしてまいります。

2. ご意見募集の概要

- ・募集期間 令和4年4月13日（水）～令和4年5月6日（金）
- ・対象学校 東部小学校・中部小学校・西部小学校・中学校・軽井沢風越学園
- ・対象学年 小学5・6年生、中学1・2・3年生
- ・募集方法 各学校に資料配布（町ホームページにも掲載）し、学校に提出

3. ご意見募集の結果

（1）ご意見の受付人数 ※括弧内は受付件数

283名（569件）

（2）受付人数の内訳

小学生	中学生
279名（560件）	4名（9件）

(3) ご意見件数と内訳

基本政策別の意見区分は、「基本政策3 快適でにぎわいのあるまちづくり」に関する意見が39.7%で最も高くなっています。

分野別では、「2-1 自然環境」が23.6%で最も高くなっています。

基本政策別 意見区分		件数	構成比 (%)	意見の多かった事柄	
分野別内訳					
基本政策1 未来に希望をもてるまちづくり		52	9.1		
1-1	少子化対策	21	3.7	子育て助成金の充実 人口増加・維持	7 件 4 件
1-2	シティ・プロモーション	31	5.4	町のPRの強化 祭り やイベント の開催	12件 12件
基本政策2 環境に配慮したまちづくり		195	34.3		
2-1	自然環境	134	23.6	自然環境の保全 自然環境の整備や充実	97件 25件
2-2	環境負荷低減	52	9.1	ゴミ 対策の推進 温暖化対策の推進	36件 14件
2-3	水利用	9	1.6	川の水質保全 川や沢の景観の維持	5 件 2 件
基本政策3 快適でにぎわいのあるまちづくり		226	39.7		
3-1	生活環境	43	7.6	気軽に遊べる 公園等の整備 住みやすいまちの整備	18件 10件
3-2	防災	-	0.0		
3-3	交通	53	9.3	道路整備の推進 渋滞緩和対策の促進	26件 16件
3-4	景観	11	1.9	環境美化の推進 緑化の推進	4 件 4 件
3-5	観光	33	5.8	自然環境の保全、環境美化 観光地の整備	14件 7 件
3-6	商工業	80	14.1	商業施設の増設 娯楽施設の増設	43件 24件
3-7	農業	6	1.1	農業や自家栽培の促進 無農薬栽培の促進	2 件 2 件
基本政策4 誰ひとり 取り 残さないまちづくり		44	7.7		
4-1	健康	10	1.8	医療環境の充実 健康維持管理	7 件 3 件
4-2	地域包括ケア	11	1.9	福祉環境の充実 生活補助の充実	7 件 2 件
4-3	教育	17	3.0	教育施設の整備 教育内容の充実	4 件 3 件
4-4	生涯学習	3	0.5	スポーツ環境の充実	3 件
4-5	歴史・文化	3	0.5	歴史文化財の保全 ふるさと 教育の促進	1 件 1 件
基本政策5 協働と パート ナーシップのまちづくり		20	3.5		
5-1	住民参画	17	3.0	あいさつをする 男女差別をなくす	10件 2 件
5-2	都市運営	3	0.5	インターネット 環境の充実	3 件
S 軽G s		14	2.5		
その他		18	3.2		
合 計		569	100.0		

※構成比は小数点第二位を四捨五入しているため、100.0%にならないことがあります。

4. キッズコメントの意見の概要と町の対応

(1) 基本政策1 未来に希望をもてるまちづくり

意見の概要	町の考え方
1-1 少子化対策	
・子どもが町に残りやすいように、大学や高校などをもっと増やす。 ・子どもが生まれた人は、町からお祝い金がもらえることが大人にもうれしいと思った。 ・人口もちょっとずつ、無理をせずに増やしていくことが良いと思う。	みんなが中学校を卒業した後、町で学べるように今ある軽井沢高校を学びたいと思える魅力ある学校にしていくとともに、大学を作るのではなく、大学のように専門分野を学べる機能を町に持ってくることも面白い取り組みのひとつと考えています。 人口対策は町を発展させていくためには大事なことです、ご意見の通り無理せず取り組んでいきます。なお、人口対策のひとつとして、出産の時だけでなく、子どもの成長に合わせた、必要な支援も引き続き実施していきます。
1-2 シティ・プロモーション	
・夏まつり以外にも、おまつりをやったりして、みんなが楽しくなったり、人が増えてたりして、軽井沢に人が集ってくるようにしたい。 ・軽井沢しか売ってないグルメや、キーホルダーをふやす。 ・いろいろな人に、住みたいと思ってもらいたい。	みんなが楽しめるまちにするためには、魅力ある取り組みが必要となります。東京などに住んでいる人達が軽井沢町でも仕事ができるようテレワークができる環境を整えたり、町に寄附してくれた人に軽井沢の特産物等をお返しするなど、町の魅力を発信することで、たくさんの人が軽井沢町にきてくれると良いと考えています。 また、軽井沢にしか売っていないものを増やすことは、軽井沢のブランド力を上げるために必要なことと考えていますので、これからも取り組んでいきます。

(2) 基本政策 2 環境に配慮したまちづくり

意見の概要	町の考え方
2-1 自然環境	
・軽井沢ならではの自然や緑は 10 年後も残して欲しい。 ・森林を守る。	この計画を作るために、アンケートを行った結果、「軽井沢町の自然をこの先も守ってほしい」という意見が一番多かったため、町では先代から築き上げられてきたこの自然環境を保全するための取り組みを行っていきます。 ちなみに家を建てる時などにみんなに守ってもらいたい約束事を町独自で決めていますので、これからもその約束事を皆に知ってもらい、守っていただけるよう努めていきます。
2-2 環境負荷低減	
・地球温暖化になっているので、ゴミをリサイクルするのがいいとおもいました。 ・環境に良い太陽光発電を増やした方が良くと思う。 ・クリーンエネルギー自動車をみんなにひろまるようにするのは、すごくいいとおもいます。	町ではみなさんに地球温暖化対策の取り組みを進めてもらえるよう、太陽光発電設備や太陽光などのエネルギーを蓄えられる蓄電池の設置のための支援などを行い、もっとみなさんに地球温暖化対策について知ってもらえるよう取り組みを行っています。更にリサイクルも大事な視点であり、ごみの再利用、再資源化の推進のため、再利用促進会を開催しています。 また、町は CO2（二酸化炭素）排出実質ゼロ、すなわち環境に配慮したまちづくりを目指しているので、エネルギーを賢く、無駄なく活用できるよう対策を実施していきます。
2-3 水利用	
・川がいつまでもきれいであってほしい。 ・川にゴミをすてないで、ずっときれいな川を守るためによびかけをしてほしい。	地球環境の保全のためにも、きれいな川を守ることは大切なことなので、町でも川の水とともに、地下水、湧水などの水の環境を守る取り組みを、みなさんに知ってもらう活動を行っています。 また、川に限らずゴミのポイ捨て（不法投棄）は、軽井沢の美しい環境を損なうことにも繋がりますので、みんなに呼び掛け等を行っています。

(3) 基本政策3 快適でにぎわいのあるまちづくり

意見の概要	町の考え方
3-1 生活環境	
・花だんなどを置いて、季節の花を植える。 ・町にもう少しトイレを増やしてほしいです。 ・もうすこし公園や小さい子たちが遊べる所を増やしてほしいです。	誰もが心地よく暮らせるよう生活環境を整えることは重要なことであり、公園や緑地等の美化推進が必要と考えますので、衛生面も含めて地域の皆さんと一緒に連携して取り組みを推進していきます。
3-3 交通	
・もう少しバスを増やしてほしい。 ・道路で狭い所を広げたり、整備をしてほしい。 ・ちょっとした横断歩道にも信号をつけてほしい。信号は歩車分離式にしてほしい。 ・渋滞が少ないまちにしてほしい。	バスを含む公共交通機関の充実や渋滞対策は、この計画を作る際のアンケート調査でも課題とする意見が多かったため、関係機関と連携し、検討していきます。 なお、信号機の設置等については、交通量の多さ等総合的に判断して対応することとなりますが、まずは登下校の子ども達の見守りや通学路の危険個所のパトロールを強化して、安全・安心を確保できるようにしていきます。 また、狭い道路の整備は、私たちが日常生活を送るうえで、道路での通行と安全面の問題を解決するだけではなく、地震などの災害時における消防、救急活動にも対応できるものと考えていますので、取り組みを推進していきます。
3-4 景観	
・これ以上、建物を増やさないでほしい。 ・電柱を地中に埋める。 ・緑とか自然の色を軽井沢町にいっぱいぬってほしい。 ・もっと昔の中山道を大切に、昔の風景を残して欲しいです。 ・明るすぎる照明をなくして、星の美しい町にしたい。	町では「軽井沢町の自然対策保護要綱」という独自の決まりをつくり、本町ならではの美しい景観保護に努めています。この計画を作る際のワークショップでは、残したい風景について、大人の皆さんが意見交換をしたところ、残したい風景のひとつとして中山道の宿場町のおもかげが挙げられていました。各地域で残したい風景等があると考えていますので、皆さんと協力し、取り組みを推進していきます。 また、無電柱化は、地上にはりめぐらされた電線類がなくなり、美しいまち並み、良好な景観形成の他、防災機能の向上も図れるため、実施できるよう

		検討を進めていきます。 さらに星の美しい町は大事な視点であり、大気汚染も星空を見えなくなる要因のひとつとなるため、様々な角度から取り組みを行っていきます。
3-5 観光		
	・観光客とかが楽しめる「軽井沢に来たら、絶対にいったほうがいい場所」みたいなことにお金を使ったほうがいいと思います。 ・アウトレット以外の、観光地にも人を増やしてほしい。 ・コロナで観光客が減ってしまったけど、軽井沢の魅力をアピールして、観光客でにぎやかな軽井沢にしたいです。	町の自然や歴史、文化等を探求できるエコツーリズムを推進し、日帰りではなく、長期滞在できる環境を整備する取り組みを推進していきます。そのためにも、ご意見のとおり一部のエリアのみではなく、本町には多くの観光資源があるので、様々な体験型の観光ができるプログラムをつくるなど、魅力発信できるよう取り組んでいきます。
3-6 商工業		
	・アウトレット以外にも、服屋とか、家具とか買えるお店とか、たくさんお店を出してほしい。 ・映画館や遊園地やイオンのような商業施設がほしい。	本町は観光産業を軸とし、発展してきた町であるとともに、自然豊かな保健休養地（安らいだり、リラックスできる場所）として環境保全に取り組んできました。今後は新たな産業を作る検討をしていくことを考えています。 また、本計画を作る際に行った中高生ワークショップでも、映画館等の遊ぶ場をつくってほしいとの意見があった一方で、無秩序（順序や決まりを守らない）な開発はせず、環境保全は継続して行ってほしいとの意見がありました。商業施設に限らず、住民の利便性向上を含め検討していきます。
3-7 農業		
	・作物や家畜のえさに農薬をつかわないでほしい。 ・軽井沢の気候をいかして野菜などをいっぱい作って売りたい。	標高の高い本町は、地域の特有の気候を活かし、真夏でも涼しく、朝に発生した霧によるみずみずしさが特徴の高原野菜が有名ですので、発地市庭を中心として販売を促進していきます。 また、農薬を使わない農業とし、農薬や化学肥料などの化学物資に頼らない有機JAS※の認定を推進していけるよう努めていきます。 ※有機 JAS とは、化学的に作られた肥料や農薬を使わないで、環境への負荷を減らした持続可能な生産方式で作られた農産物や加工品などのこと。

(4) 基本政策4 誰ひとり取り残さないまちづくり

意見の概要	町の考え方
4-1 健康	
・とにかくみんなが健康にらせるようにしたい。 ・みんなが安心してらせるように、だれもが安心して、信らいのある病院であってほしいと思いました。 ・病院を増やしてほしい。	あらゆる年齢のすべての人が健康な生活を送れること、福祉を充実することは安心・安全な社会を構築するために大変重要であると考えていますので、皆さんが日々健康に関心を持ち、健康づくりを行えるよう取り組んでいきます。 また、医療体制は軽井沢病院を中心に連携を図り、町における医療の充実を図りたいと考えています。
4-2 地域包括ケア	
・障がい者でも、お年寄りでも、子どもでも、支え合ってみんな同じように楽しくらせる町にしたい。もしできたら、きっとすごく良い町になると思いました。 ・いじめや自さつがない軽井沢町。	ご意見のとおり、障がいがあっても、高齢であっても、子どもであっても、誰もが支え合う体制づくりは大変重要と考えており、福祉教育や年齢、性別、居住地、世帯構成等を問わない支援体制の充実が図れるよう努めていきます。 なお、相談しやすい環境づくり、支援体制を充実させることでいじめ対策や自殺防止にもつながると考えています。
4-3 教育	
・学校間での交流をたくさんして、他校とも関係をよくする。 ・学校が古いので、新しくしてほしい。 ・中学校など1つしかないので、中学校などを増やした方がいいと思います。 ・給食をもっとうまくしてほしい。	教育環境の整備は大切な視点であり、引き続き古い校舎の対策など充実化を図っていくとともに、7校連携による学校間の交流も併せて推進していくことを考えています。 また、学校給食は食育という役割もあり、学校給食応援隊の人たちと一緒に、地元の食材を使ったり、よりおいしい給食づくりに努めていきます。
4-4 生涯学習	
・もっとアイスリンクやカーリング場を増やして、ウィンタースポーツが強くなってほしい。	町には風越公園という総合型スポーツ公園があります。この公園をより多くの人の活用していただくとともに、いつでも・どこでも・だれでもスポーツを楽しめる環境をつくるため、スポーツ協会や総合型スポーツクラブな

	どと連携し、ウィンタースポーツを含めたスポーツの振興を図っていきたいと考えています。
4-5 歴史・文化	
・10年後の軽井沢にも歴史的な建物などが残っているといいなと思います。	歴史・文化に触れることができる環境は、郷土への誇りや愛着を育む大切なものです。 本町には歴史的な建造物などが数多く存在し、10年後にもそのような建物が残されているように、引き続き活用方法を含めて検討していくことを考えています。 なお、貴重な文化財を後世に引き継ぐ取り組みとして、文化財保存に関する補助や専門家による記録づくりなどの取り組みを実施していきたいと考えています。

(5) 基本政策5 協働とパートナーシップのまちづくり

意見の概要	町の考え方
5-1 住民参画	
・知らない人にも、あいさつをしたり、笑顔をかかわして、町の雰囲気をよくする。 ・「LGBTQ」の人が住みやすい町にしていきたいです。 ・女の人も働きやすい場所にしてほしい。	ご意見のとおり、あいさつをする、笑顔を交わすことは大切な行動であり、人がつながる第一歩として、地域のコミュニティづくりにもつながります。年齢や住んでいる期間、移住してきた人、別荘の人等に関わらず、住民が主体となり、皆で自分たちのまちをつくる力を育んでいけるよう取り組んでいきたいと考えます。 また、LGBTQ（性的マイノリティ）をはじめ、ジェンダー平等など、あらゆる人に居場所があり、いきいきと活躍できるまちづくりを進めていきたいと考えています。
5-2 都市運営	
・インターネットを使える環境が限られているので、使える場所を増やしたいです。	高度情報化社会は急速に進化し、これからもさらに発展していき、様々な場面でインターネット環境の活用は進んでいくものと考えています。

・タブレットを色々な所で導入してほしい。	また、学校においても ICT（インターネット＆コミュニケーションテクノロジー）の活用による教育環境の充実は国の重要課題としても取り上げられていますので、町も動向等を注視し、推進していくことを考えています。
----------------------	--

（６）Ｓ軽Gs（えすかるじーず）について

意見の概要	町の考え方
全体	
・SDGs は知っていたけど、Ｓ軽Gs は、初めて知りました。 ・住みやすい町をつくるために、みんながSDGs にとりくんでＳ軽Gs をやって、笑顔で暮せたらいいと思いました。 ・Ｓ軽Gs 協力します。	SDGs をより身近に感じ、実践していただけるよう軽井沢町によりふさわしい独自の目標を考えたのが「Ｓ軽Gs」となります。一人ひとりが考えて行動することが大切で、誰もが住みやすいまちづくりにつながると考えますので、町でもＳ軽Gs を目指して取り組んでいきたいと考えています。 また、小中学生のみなさんから協力するという声が届いたことは大変嬉しく思いますので、期待に応えられるよう進めていきます。

（７）その他

意見の概要	町の考え方
・今軽井沢町はすごくいい町だと思っているから、今やっていることを続けてほしいです。 ・このパンフレットがわかりやすい。	これから軽井沢町を支えていくみなさんが、10 年後、20 年後も住んで良かった、また、観光のお客さんも来てよかったと思えるようなまちづくりを目指し、今よりもっと良いまちになるよう、皆さんと一緒に取り組んでいきます。



